

## 桜井 みち代(さくらい みちよ)先生のプロフィール

- 勤務先 桜井医院
- 経歴 島田市民病院皮膚科医長、静岡県立総合病院皮膚科を経て現勤務先に
- 専門 皮膚科(なかでもアトピー性皮膚炎の漢方治療)



### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

16年前、アトピー性皮膚炎に対するステロイド治療の限界を感じて、悩んでいた時、皮膚科学会で二宮文乃先生のご講演を聴きました。

その時は、半信半疑でした。その後、二宮先生の診療を見学し、漢方治療が有効なことを実際に眼のあたりにして、漢方医学を勉強しようと心に決めました。

### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

長年ステロイドによる治療を受けていても、改善しない、さらにはかえって悪化してくるアトピー性皮膚炎の患者に対し、漢方治療を行うとステロイドを使わなくても、患者本来の自然な肌にもどっておく。そのような症例を多数経験しています。

その他、尋常性乾癬、尋常性?瘡、蕁麻疹、慢性湿疹、鬱滞性皮膚炎、脂漏性皮膚炎等、西洋医学では難治の皮膚病にも著しい効果をあげています。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

8割は漢方薬、残りが西洋薬です。

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

皮膚科専門医に漢方医学の修得が必須になってほしいと思っています。

### ◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

おおいにあります。毎日、当帰芍薬散と桂枝加芍薬湯を飲んでます。

昔は足が冷えて痛いほどで、眠れなかったのが、最近は冷えなくなりました。

また、便秘と下痢を繰り返していましたが、今は便通がよくなり、快適です。その他、風邪を引いた時、咳が止まらない時、過労で倒れた時など、その都度漢方薬を内服し、効果を実感したものです。



◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

西洋医学で十分な効果がみられない慢性病にも、漢方が効果を発揮することが少なくありません。良くなって喜ぶ患者さんの顔を見ることは、医者にとってこの上ない喜びです。

そういう喜びを与えてくれる漢方医学を学んでよかったと、必ず思える日が来ることを信じて、勉強して下さい。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

西洋医学で治らない病気でも漢方でよくなるのが沢山あります。

◆座右の銘、好きな言葉がありましたら教えてください

恒心なき者、事なり難し



注意：先生へのインタビューは、当会が2010年8月に行った内容です。